

こんな岡見っ子に

「これからの時代を生き抜く力」を身につけた岡見っ子【児童につけたい力】

【自治力】【学力】【体力】

【目指す児童像】

- お：思いやりのある子・・・【自治力】
か：考え創り出す子・・・【学力】
み：自らきたえる子・・・【体力】

充実した教育活動

【自治力：よりよい生活を営む力】の育成
重点：「納得解」を作る力を育てる。

- 学級経営：ルールとリレーションのある学級づくり
特別活動：自分達で考え、実行する力を育てる。

【学力：学びに向かう力】の育成

- 重点：わくわくするような楽しい授業の創造
授業改善：「学ぶ力」の育成
基礎学力：「学んだ力」の育成

【体力：やりきる力】の育成

- 重点：深い児童理解で心の安定を図る。
児童理解：「心の安定」
生活習慣：「充実した心と体」

【学校教育目標】

人権尊重を基盤として、これからの時代を生き抜く、心優しくたくましい岡見っ子の育成

こんな岡見小学校に

自尊感情と自己有用感が高まる、あたたかい教育環境がある学校

「安心感」「期待感」「充実感」

あたたかい教育環境

- 自尊感情と自己有用感につながる三つの感覚を大切に
「安心感」：「ほっ♡」とできる安心感のある教室
「期待感」：「わくわく」する期待感のある授業
「充実感」：「よっ！」と感じる充実感のある活動

みんなが学校の運営者

【支える大人】保護者・地域・職員

- ひざをついて子どもの目線で
傾聴：うなずいて聴く 子供の本当の願いを知る。
任待：任せて待つ 自分達で考え、行動する力を育てる。
称賛：当たり前をほめる 良い価値を学び、意欲と自信を高める。
○ 高い位置から大人の目線で
俯瞰：客観的目線 親は「木」の上に「立」って「見」る。

【岡見小職員】「厳しいけど好き！」

- 凡事徹底（しっかりした指導と評価）
○ 笑顔と遊び心
○ 意識してみよう！幸せの四因子

R6テーマ 「エンゲージメントを高めよう！」



【深い児童理解】 実態の背景を理解する

- ◎ 四つの視点をもって、深い児童理解に努めます。
背景…一人一人の生活背景の理解
必然性…言動の必然性（要因）の理解
願い…心の奥にある本当の願いの理解
当たり前のよさ…当たり前のことができるよさの理解

【進路保障】

- 全ての子ども達の実態に目を向け、一人一人にこれからの時代を生き抜く力を育てる。
○ 誰もが同じように教育を受ける権利を保障する。

【人権・同和教育】

人権・同和教育を全教育活動の基底に据え【進路保障】に努める。

【的確な実態把握】 事実を事実として受けとめる

- ◎ 多様な方法での的確な実態把握に努めます。
・ 日常の観察（生活・学習） ・ 教育相談
・ 職員間の情報交換
・ 客観的な情報…個人の実態・集団の実態（学力調査等の分析）（QUの有効活用）

一人一人の学びを保障する。（人権としての教育）

一人一人が大切にされる環境づくりに努める。（人権を通じての教育）

人権についての理解や人権感覚の育成に努める。（人権についての教育）